

はっぐがわら版

T区(東調査区)悪戦苦闘中

現代盛土2m...

現代の造成土

T区の作業風景と調査区内の配管



←鉄管(水道?)

←陶管(汚水?)

←塩ビ管(汚水)

塩ビ管(不明)→

悪戦苦闘の日々...

平成27年度 第9号

発行日: 20160112

発行: 小牧市教育委員会
小牧山課

問合せ: 0568-76-1623

新年の小牧山城の発掘調査は4日から始まりました。今年も皆様に良い成果が報告できるよう、作業員・調査員一同、安全第一で作業に従事しています。

12月から着手した屋外トイレ周辺のT区(東調査区)では悪戦苦闘の日々が続いています。歴史館建設(昭和42~43年)の際に造成したと思われるスロープ部分は2m以上の土砂で、お城本来の地形が埋め立てられています。その埋立ての土の中には、上下水道、電気ケーブル等々、様々な埋設管が入り組んで走っており、それらを傷つけないよう、注意深く掘り下げなくてはなりません。

「この下に眠る小牧山城の秘密を明らかにしなくては…」というはやる気持ちを抑えつつ、慎重かつ迅速な作業を日々続けています。

発掘ひとくちメモ

~小牧山 昭和コレクション~

東調査区の現代盛土からは、スロープ造成工事当時(昭和40年代)の懐かしいモノたちが時折見つかります。

ラムネやお酒のビンにお菓子のビニール包装など、行楽地として親しまれた小牧山の賑わいが伺えます。皆さんの記憶にあるモノはありますか?

ニッキ水のビン



ラムネのビン



ジュースの缶



かき氷容器のフタ



※一部画像を処理しています

調査中ご迷惑をおかけしますがご理解とご協力をお願いします

小牧市教育委